

小学校算数科実践事例		大口市立曾木小学校		教諭 福山邦子	
単元名		三 角 形		本 時	1/11 二等辺三角形と正三角形
目 標		いろいろな長さのストローを組み合わせて、いろいろな三角形を作ることができる。 辺の長さの違いに着目し、三角形を分類することができる。			
		主な学習活動		指導上の留意点（カウンセリングの視点）	
導 入 20分		1 4種類の長さ（色別）のストローで三角形を作る。 2 学習問題を知る。 ○ いろいろな三角形を作ってみよう。 3 いろいろな三角形を作る。 二人組（ペア）で三角形を作る。 ・ 同じ三角形がないか調べる。 ・ 隣の組と比べてもっと異なる三角形を作る。 4 ストローで作った三角形を台紙に貼り、台紙の右上にストローの色を書く。 ・ 作業しながら気づいた事を発表する。 5 学習のめあてをつかむ。 ○ 三角形を仲間分けしよう。	・ 三角形はどうすればできるか実際に作るにより学習意欲を高める。（内発的動機づけの喚起） ・ 三角形の定義について確認する。（配慮を要する児童への対応） ・ 三角形をいっぱい作ることが課題であることを伝える。 ・ 学習方法、時間の確認をさせる。（自律的な学習促進） （形成的評価1）いろいろな三角形を作ろうとしているか。 ・ 二人で協力して異なる三角形をたくさん作らせる。 ・ 自分たちのグループにはない形のものを考えさせる。 （リレーション作り、考えを深める） （形成的評価2）いろいろな三角形を作ることができたか。 ・ 分け方の観点として、色に着目しやすくなるように色名を書かせる。（配慮を要する児童への支援） ・ 意図的指名をする。（受容、共感的態度） ・ 学習問題の表現はできるかぎり児童のことばを使って表わす。 （自己決定感の高揚）		
見 通 す 4分		6 仲間分けする方法を考え、発表する。 色別、似た形、大小別、長さ ・ 一人で考える。 ・ ペアで考える。	・ 前学年では直角三角形で分けたことを思い出させる。 ・ どんな観点で分けても、その考えを尊重するようにする。 （受容、共感的態度） ・ 一人で考えた方法を発表させる。（受容、共感的態度） ・ ペアで考えた方法を発表させる。（受容、共感的態度）		
調 べ る 10分		7 二人組で仲間分けする。	・ 分類の観点や困ったことなどを用紙にメモさせる。 （配慮を要するグループへの支援） ・ お互いに話し合いながら進めさせる。 （自己表現、考えを深める、リレーション作り）		
深 め る 6分		8 仲間分けの方法を発表する。	・ 発表の仕方や分担は話し合いで決めさせる。 （受容、共感的態度、明確化） ・ ストローの色の数を辺の長さで表現させてみる。 （形成的評価3）三角形の形や辺の長さに着目して分類できたか。 ・ 仲間分けの一つの観点として、掲示板に三角形をつるしておく。 （情報提供）		
ま と め 5分		9 本時のまとめと評価をする。 ・ 自分でまとめる。 ・ 自己評価をする。	・ 自分のことばでノートにまとめさせる。（明確化） （本時の評価）いろいろな三角形を作り、辺の長さに着目して、三角形を分類できたか。 ・ 文章表現の自己評価をさせる。（自己肯定感の高揚）		
実 践 の 考 察	異なる三角形をたくさん作る活動では、ペアから徐々にグループを広げていったことで、自分が作ったものとは異なる三角形があるのに気づいた。作る時間を制限したり、残り時間を知らせたりしたことで、集中力やチームワークが高まり、多くの異なる三角形を作ることができた。また、三角形の仲間分けの発表では、ペアで発表の仕方を話し合うことにより、自己表現が苦手な児童も抵抗なく、発表することができた。文章法による肯定的な自己評価を行うことで、自らの学習を学習方法関心・意欲といった観点から振り返り、次の学習へ生かせるようにした。				

1
